

令和3年度

玉城町公共下水第7処理分区(蚊野茶屋) 管渠工事

積 算 根 拠 資 料

輕量鋼矢板賃料算出

軽量鋼矢板 集計表										
延長 (m)	土 留 材 供 用 日	軽量金属支保賃料 供 用 日	仮設材重量 ( t )	ウェル・ント		水 替 日 数	仮設材賃料 (円)	管種・管径	備 考	
				運 転	供 用					
【H=2. 0m 支保1段】										
6. 0			0. 8					PRP φ 150	別紙計算	
【H=2. 5m 支保1段】										
3. 5			0. 6					PRP φ 150	別紙計算	
【H=4. 0m 支保2段】										
4. 0			2. 1					2号レジン	別紙計算	
			3. 5 t							

軽量鋼矢板 H=2.0m 1段

軽量鋼矢板H=2.0 1段

## 作業工程表・運搬重量

工種	種別	作業量		日当たり作業量		作業日数			摘要
						実働日数	不稼働係数	工期	
PRP φ 150									
掘削	BH0.35	9.2	m3						
軽量鋼矢板設置									
建込み	H=2.0m	6.0	m						
支保設置工	1段	6.0	m						
	小計								
基礎工									
碎石基礎	RC-40	1.7	m3						
管布設工									
PRP φ 150		6.0	m						
軽量鋼矢板撤去									
撤去	H=2.0m	6.0	m						
支保撤去工	1段	6.0	m						
埋戻	BH0.35	6.1	m3						

### 【運搬重量】

軽量鋼矢板 (H=2.0m)一枚あたりの重量

$$2.0\text{m} \times 21.6\text{kg/m} = 43.2\text{kg} = 0.0432 \text{ t/枚}$$

総重量

$$0.0432 \text{ t/枚} \times 6.0\text{m} \div 0.333 \text{ m/枚} = \boxed{0.8} \text{ t}$$

軽量鋼矢板H=2.0 1段  
工程表

工種	日数	
掘削工		
軽量鋼矢板建込み +支保設置		
基礎工 碎石		
管布設工		
軽量鋼矢板撤去+ 支保撤去		
埋戻し工		

軽量鋼矢板 支保供用日数		
使用日数		

PRP φ 150

仮設材質料計算書

名 称	規 格	単 位	使用数量	使用日数	単 価	賃 料	不足弁償金	修理費及び 損耗費	合 計
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t	0.8 t						
軽量鋼矢板(埋殺)									
軽量鋼矢板(スクラップ)									
小 計									
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段	1 段						
小 計									
合 計									

仮設材単価

名 称	規 格	単 位	リース単価	不足弁償金 (中古)	修理費及び損耗費 (C)×2.75	建設物価 (a)	積算資料 (b)	平均単価 (c)=(a+b)/2	適 用
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t							
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段							

軽量鋼矢板 H=2.5m 1段

軽量鋼矢板H=2.5 1段

## 作業工程表・運搬重量

工種	種別	作業量		日当たり作業量		作業日数			摘要
						実働日数	不稼働係数	工期	
PRP φ 150									
掘削	BH0.35	5.9	m3						
軽量鋼矢板設置									
建込み	H=2.5m	3.5	m						
支保設置工	1段	3.5	m						
	小計								
基礎工									
碎石基礎	RC-40	0.9	m3						
管布設工									
PRP φ 150		3.5	m						
軽量鋼矢板撤去									
撤去	H=2.5m	3.5	m						
支保撤去工	1段	3.5	m						
埋戻	BH0.35	3.9	m3						

### 【運搬重量】

軽量鋼矢板 (H=2.0m)一枚あたりの重量

$$2.5\text{m} \times 21.6\text{kg/m} = 54.0\text{kg} = 0.054 \text{ t/枚}$$

総重量

$$0.054 \text{ t/枚} \times 3.5\text{m} \div 0.333 \text{ m/枚} = \boxed{0.6} \text{ t}$$



軽量鋼矢板H=2.5 1段  
 工程表

工種	日数	
掘削工		
軽量鋼矢板建込み +支保設置		
基礎工 碎石		
管布設工		
軽量鋼矢板撤去+ 支保撤去		
埋戻し工		

軽量鋼矢板 支保供用日数		
使用日数		

PRP φ 150

仮設材質料計算書

名 称	規 格	単 位	使用数量	使用日数	単 価	賃 料	不足弁償金	修理費及び 損耗費	合 計
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t	0.6 t						
軽量鋼矢板(埋殺)									
軽量鋼矢板(スクラップ)									
小 計									
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段	1 段						
小 計									
合 計									

仮設材単価

名 称	規 格	単 位	リース単価	不足弁償金 (中古)	修理費及び損耗費 (C)×2.75	建設物価 (a)	積算資料 (b)	平均単価 (c)=(a+b)/2	適 用
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t							
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段							

軽量鋼矢板 H=4.0m 2段

軽量鋼矢板H=4.00 2段

軽量鋼矢板H=4.00mの供用日数は、以下の通りとする。

規 格	数 量	単 位	日進量	工期	摘 要
掘削工	13.29	m3			
土留設置	4	m			
支保設置	2	m			
人孔設置	1	箇所			
埋戻工	8.6	m3			
土留撤去	4	m			
支保撤去	2	m			

不稼働係数1.7×

=

2号人号掘削

$2 \times 2 \times 3.32 = 13.29 \text{ m}^3$

埋戻し控除

$1.36 \times 1.36 \times 0.15 = 0.28 \text{ m}^3$

$1.36^2 \times 3.14 / 4 \times 2.83 = 4.11 \text{ m}^3$

$1.14^2 \times 3.14 / 4 \times 0.25 = 0.26 \text{ m}^3$

埋戻し土量

$13.29 - (0.28 + 4.11 + 0.26) = 8.6 \text{ m}^3$

【運搬重量】

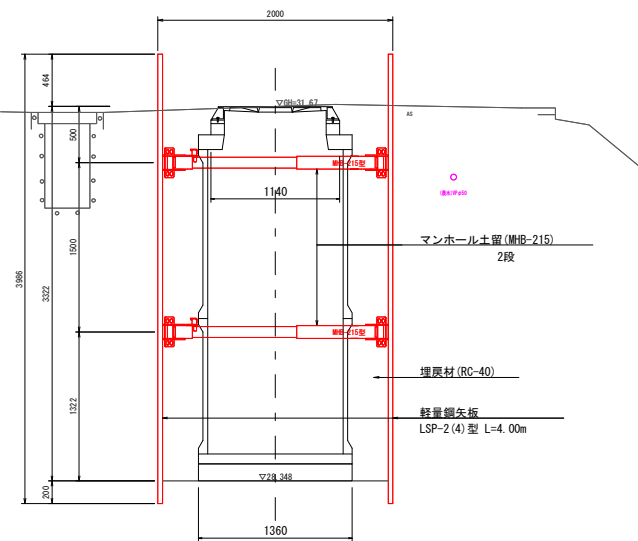
軽量鋼矢板 (H=4.0m)一枚あたりの重量

$4.0 \text{ m} \times 21.6 \text{ kg/m} = 86.4 \text{ kg} = 0.0864 \text{ t/枚}$

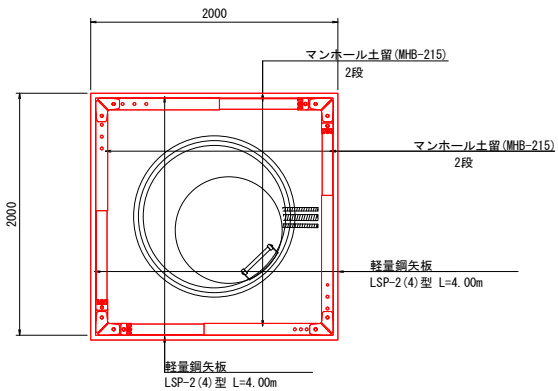
総重量

$8.0 \text{ m} \div 0.333 \text{ m/枚} \times 0.0864 \text{ t/枚} = 2.1 \text{ t}$

断面図



平面図



仮設材賃料計算書

名 称	規 格	単 位	使用数量	使用日数	単 価	賃 料	不足弁償金	修理費及び 損耗費	合 計
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t	2.1 t						
軽量鋼矢板(埋殺)									
軽量鋼矢板(スクラップ)									
小 計									
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段	2 段						
小 計									
合 計									

仮設材単価

名 称	規 格	単 位	リース単価	不足弁償金 (中古)	修理費及び損耗費 (C)×2.75	建設物価 (a)	積算資料 (b)	平均単価 (c)=(a+b)/2	適 用
軽量鋼矢板	LSP-3型	日・t							
支保材(アルミギア式ジャッキ内臓 一体型支保工材)		日・段							

交 通 誘 導 員 算 出

第7処理分区(蚊野茶屋)管渠工事 PRP φ150 VP φ75

	当初	変更
交通誘導員 A		-
交通誘導員 B		-

## 交通誘導員の算出

[illegible]